

海の豊かさを未来へつなぐ

—海人目線でみる赤土汚染の現状とこれからに向けて—

○表原 陸^{※1}・山内 岬^{※1}・紫波 俊介^{※1}
湧川 雅代^{※2}・岸本 和雄^{※2}

※1：沖縄県水産海洋技術センター普及班

※2：沖縄県農林水産部水産課水産企画班

令和7年度赤土等流出防止交流集会

突然ですが・・・

皆さまがご想像する
沖縄県の海は
どのような海？

沖縄県の海

スズメダイ



カクレクマノミ



ミズンの群れ



海草藻場



陸域から海域への赤土等の
流入が止まらない！

赤土流入



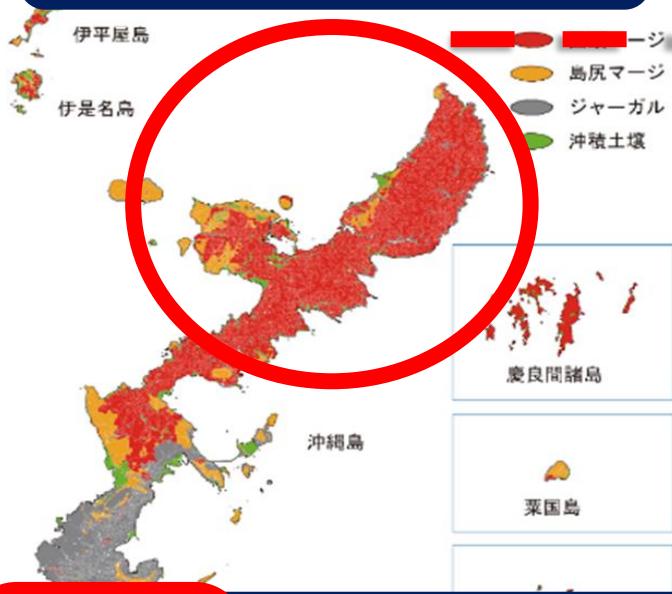
赤土流入後



はじめに

沖縄県赤土等流出防止条例が制定 (平成6年度)

赤土土壤の分布



本島北部地区は
国頭マージの分布が集中

降雨時の様子



影響

漁業

水生生物

観光

海人目線から見た
赤土汚染の現状とこれからに
向けて

調査海域一本部駐在一

水産海洋技術センター
普及班（本部駐在）
栽培漁業センター内

名護市
羽地内海
アーサ養殖

SPSS採取



東村
平良湾
モズク養殖

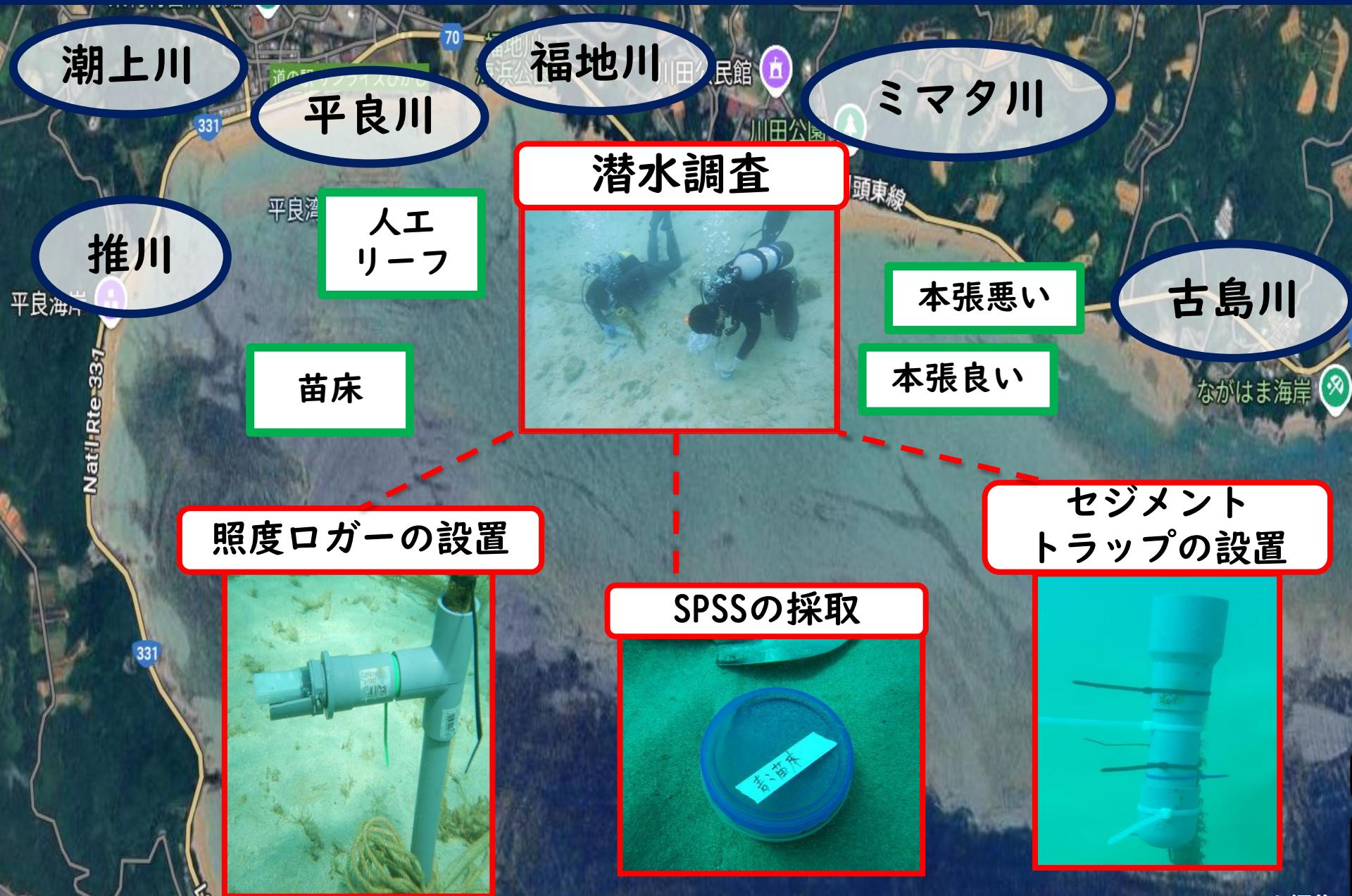
潜水調査

恩納村
アーサ養殖

宜野座村
モズク養殖

Google

東村平良湾 - 調査内容 -



東村平良湾一赤土流入2025年7月撮影一

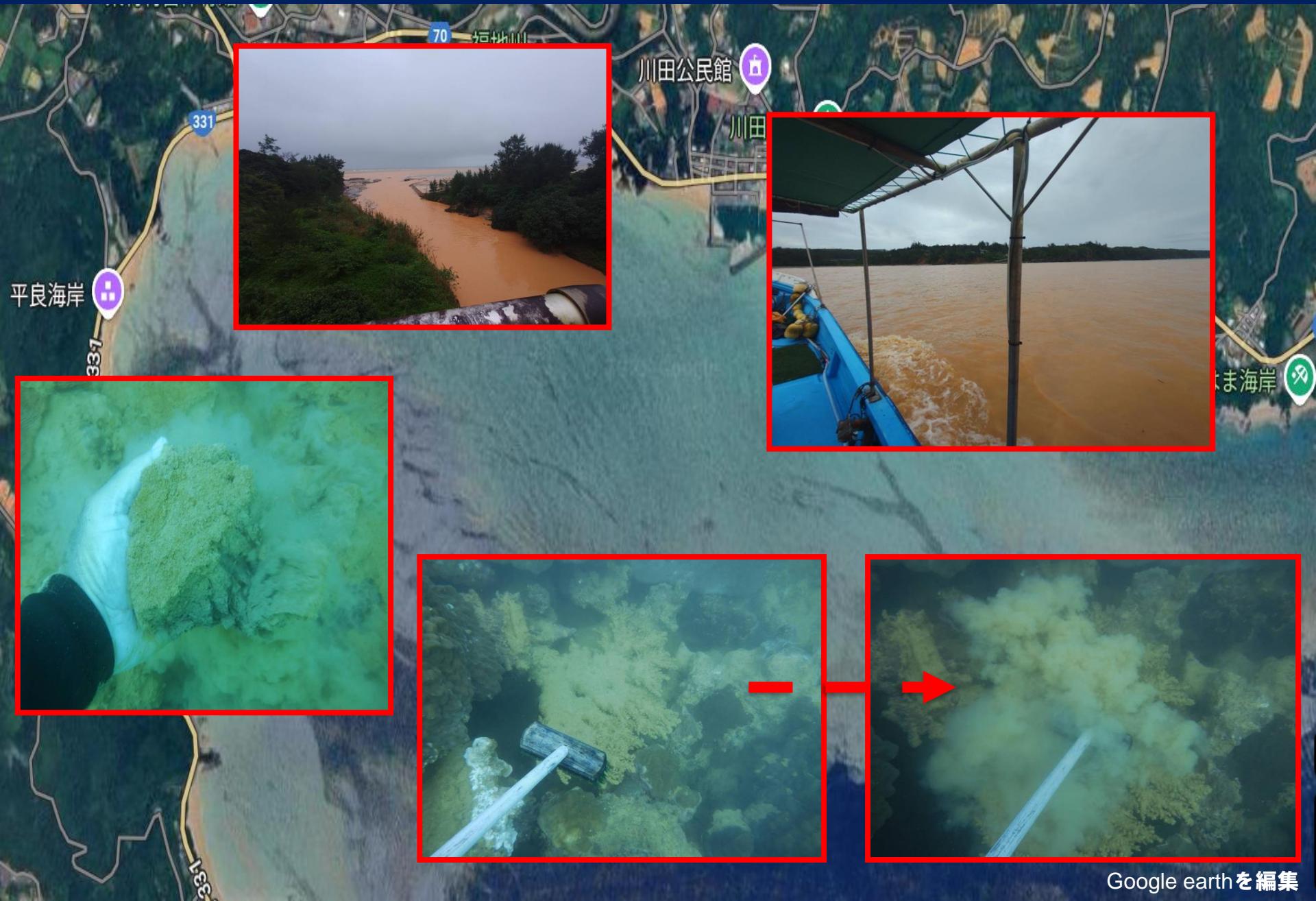


東漁港

東村平良湾一赤土流入2022年6月撮影一



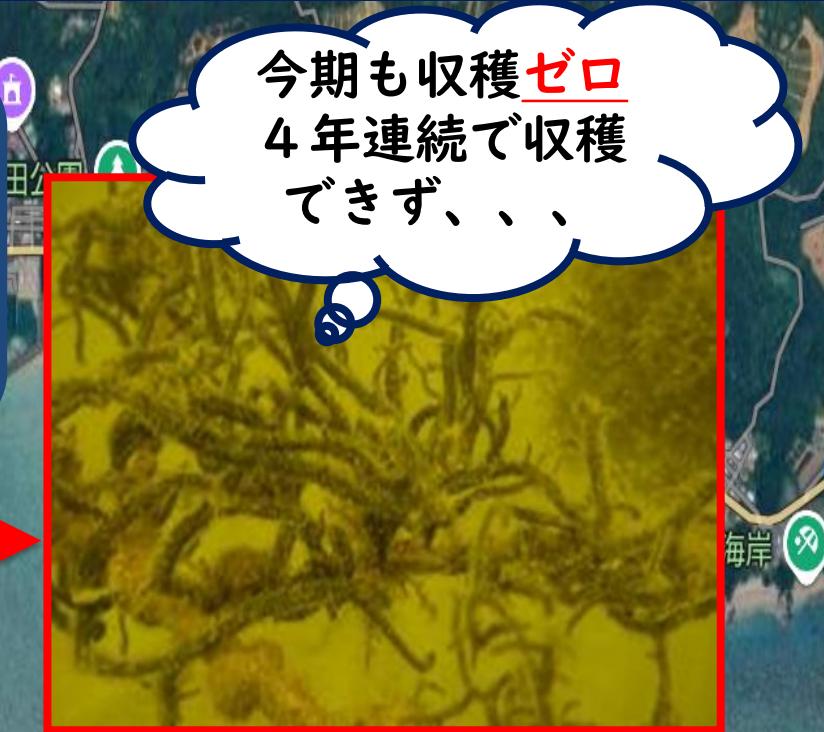
漁場への赤土流入状況－2024年11月-12月－



漁業への影響－モズク養殖・潜水漁－

モズク養殖への影響

- ・苗床場にてモズク網に赤土大量付着
- ・本張り場にてモズクに赤土大量付着
- ・R4年度は約500枚のモズク網の芽だし不調
※国頭漁協養殖・潜水部会資料参照



潜水漁への影響

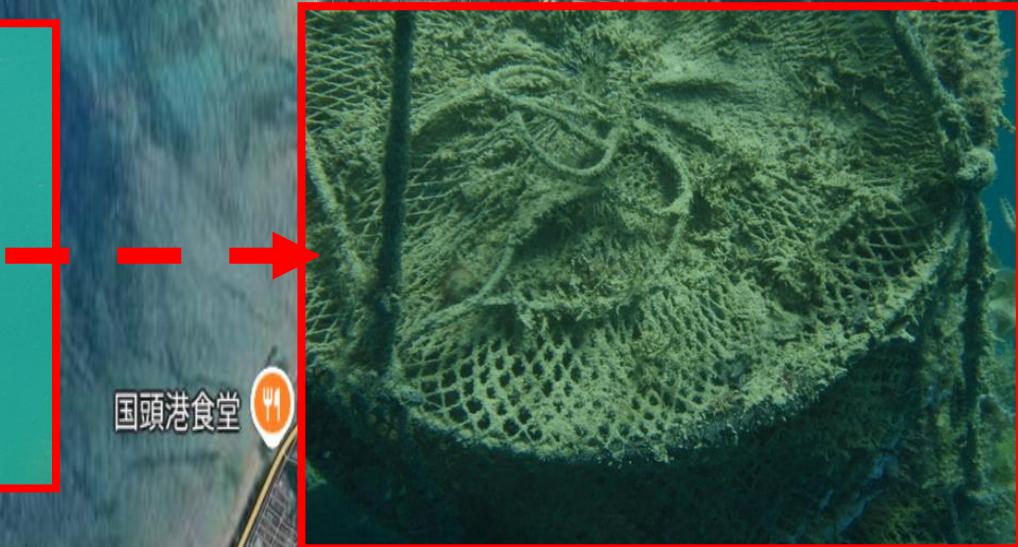
- ・濁りによる操業制限
※漁獲効率の低下・海中の照度低下による視界不良の事故防止
- ・R4年度は136日間漁の制限
※国頭漁協養殖・潜水部会資料参照



名護市の海域ー許田 (2024年9月) ー



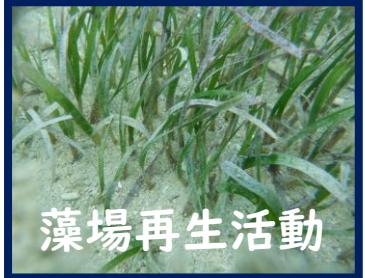
国頭村の海域－浜（2024年11-12月）－



海人が行う赤土対策へ向けた取組

海域への赤土流入は依然として止まらない・・・

漁業活動にも影響大



海人が中心となり活動

- ・陸域負荷対策
- ・藻場再生活動の実施
- ・地域と連携した取組

現在行われている取組と今後の展望について紹介

本部駐在が行う赤土対策へ向けた取組－普及啓発活動－

2025/4/23



2025/7/10



2025/8/6



2025/9/9



継続的に普及啓発活動を実施

本部駐在が行う赤土対策へ向けた取組－普及啓発活動－

展示資料（本部駐在作成）



出前授業の様子（東小学校）



本部駐在
取組

NPO等との連携（展示資料貸出）
陸域対策の解説 → 陸人の気持ち
漁業者による解説 → 海人の気持ち
赤土による海域汚染は、まだ進行中

最後に



1995年

生命は海で生まれた。
でもその海が今ピンチなんだよ。
その海を人間はどんどん汚しているんだ
※未来の大人達へ向けたメッセージ



2025年

サンゴ礁への赤土等の堆積

改めて

海を守るために自然の仕組みを理解し、
地域を含めた皆で協力する事が大切

The background image shows an underwater landscape with a dense, green, leafy algae or seagrass bed. The water is a deep blue-green color, and the surface is visible in the distance, showing small ripples and bubbles.

ご清聴ありがとうございました

2025/8/16撮影 東村沖